

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第5回 鈴鹿市立庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年1月16日(火) 19:00～20:15

2 場 所 家庭科室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

○(学校長)

- ・12月にはインフルエンザが流行したが、1月は子どもたちは元気に登校している。職員には体調を崩してのお休みがあるので気を付けていきたい。
- ・資料の通信45号のように、始業式で子どもたちに話をした。
- ・これからの予定として、2月1日に、入学説明会を予定している。1名増えて、10名になる。2月14日にはお世話になった皆様に感謝を伝える「お礼の会」を計画している。ボランティアの皆さん、いろいろなどころでお世話になった地域の代表の方々にお礼を伝えたいと思う。3月19日には卒業式。その後3月30日の桜まつりで、希望者を募って発表を行う。
- ・今回、関係者評価について、意見をいただき、次回修正したものをみていただく予定である。

○(委員長)

- ・コロナ禍から、普通の生活に戻りつつやってこられた。今回もいろいろなご意見をお聞きしたい。

4 学校関係者評価について(意見・感想より)

○学力向上について

(学校より)

- ・「書くこと」について、引き続き取り組んでいきたい。
- ・判断の基準として数値目標を設定しているが、実際の子どもたちの姿もこの場で教えていただけるとありがたい。
- ・「いきいきタイム」について、「個別の問題を出しては」と意見をいただいているが、準備や丸付けの関係で、別々のものに取り組みさせるのは難しい。
- ・「先生の読み聞かせ」に良い評価をいただいた。継続していきたい。
- ・キャリア教育に関わることは課題である。今後充実させていきたい。

(意見・感想)

- ・キャリア教育の機会を増やすことで、先生方のやることが増え、負担増にならないか。
→(学校)内容をみて教科を合わせたり、関連を持たせたり、そのために学習する順番を入れ替えたりといった工夫をしている。中学校だと職業体験の時間

もある。

- ・ 本を読むことには大事であるが、時代も変わっており、スマホなどになかなか勝てないと思われる。
- ・ 読書は、家ではなかなか難しい。その分、学校で本を読む機会を作ってもらえるのはよい。
- ・ 読むことは大事であるが、時期が来たら自分から読むということもあるのではないか。
- ・ 昔はスマホがなく、親の読む姿を子どもは見ていた。今は1歳の子でもスマホを見る時代なので、家での取組は難しい。
- ・ 「読み聞かせ」などで「読書は楽しい」と思うきっかけを作ってもらっているが、家だとなかなか読まない子はある。夏休みなど時間があるときに、親も一緒に取り組むのはよいが、学習週間の取り組みでは、「しなくてはいけないこと」になってしまい、かえって苦手意識を強めることにならないか。
→ (学校) 読書を楽しみと思えるきっかけづくりを大切にしていきたい。

○ICT活用

(学校)

- ・ タイピングは継続して取り組ませたい。
- ・ 情報の信ぴょう性を見極める能力を育てたい。
- ・ 電子図書については、小学校では導入はまだである。

(意見・感想)

- ・ タイピングなど、Chromebookについては家でも楽しそうに取り組んでいる。
- ・ 楽しそうに取り組んでいるので、電子書籍だと子どもにとってとっつきやすくなるかもしれない。
- ・ 本だと、文字が読めないとそこでやめようとなってしまう時もあるが、スマホだとその場で調べられるので、続けられることもあるかもしれない。
- ・ 時代に乗りつつ、健康面にも注意しながら取り組めるとよい。大人がアドバイスしながら、うまいやり方を学んでいけるとよい。
- ・ 動画を見てゲームのコードを調べるということ、子どもたちはやっている。大人から見ると再生数を稼ぐための明確なウソということが分かるものでも、子どもは見抜けない。

○不登校対策

(意見・感想)

- ・ 学校できちんと対応してもらっている。適切な対応を取っていただいていると思うので、引き続きお願いしたい。

○地域連携

(意見・感想)

- ・ 第3回協議会での先生方との交流は、何を教ええもらっているか、先生たちの考えなどいろいろお話ができてよい機会だった。
- ・ 人も入れ替わっていくので、継続していけるとよい。

- ・ 駐在さんとの連携は、勤務の状況もあり、難しいようである。

4 アドバイザーより

- ・ これほど意見をたくさんもらっているケースを初めて見た。庄内がとてもうらやましい。
- ・ 読書については、なぜ数字を挙げるかといえば、読書をしている子ほど成績が良いというデータが出ているから。読書に、どんな力があるのかを考えていかなければならない。「読書に引っ掻き回されなくても。」という意見をお聞きし、そういう考えもあるのかと感じた。強要や無理やりにさせることのないようにしていかないといけない。文字に親しむというのが難しい時代。子どもたちをどう積極的にさせるか。先生も読むことで、週1回でもよさを伝え続けていけるとよい。本の面白さを理解できるように粘り強く親も本を読む、少しずつ時間を延ばすなど、時間の使い方も考えていけるとよい。ICTとの使い分けが大切。
- ・ ICTは、良いところも悪いところも出てくる。タイピングの次のステップも考えていくことが大事。保護者の意見をどんどん出してほしい。1歳でもスマホを見る時代という話があったが、発達段階に応じて考えていかなければならない。ネットモラルも併せて指導していく必要がある。

5 次回日程

第6回学校運営協議会

○2月13日(火) 19:00~20:00

- ・ 学校関係者評価について・意見交流・アドバイザーより・連絡等